

当庁航空機が確認した軽石と思われる漂流物の状況 (イメージ図)



確認日時：令和3年11月18日（木）午後0時頃～午後4時25分頃

確認場所：右図に赤色の円を記載している付近海域

※各状況については、次頁以降に記載します。

当庁航空機が確認した軽石と思われる漂流物の状況 (イメージ図)

潮目に沿って筋状に漂流する様子
※軽石か不明



出典：海洋状況表示システム
(<https://www.msil.go.jp/msil/hm/topwindow.html>)
国土地理院



確認場所：大島の長根岬から北東方約6.4キロメートル付近海域

漂流状況：上記海域において、5メートル×6.5キロメートルの範囲を潮目に沿って筋状に漂流中
※この他の海域においても広く漂流している可能性があります。

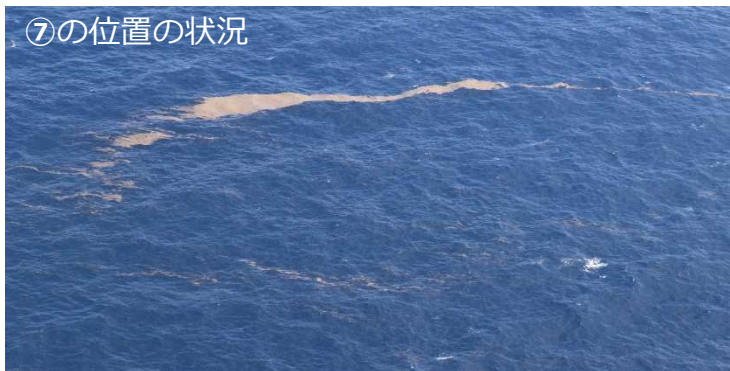
軽石と思われる漂流物

当庁航空機が確認した軽石と思われる漂流物の状況 (イメージ図)

③の位置の状況



⑦の位置の状況



出典：海洋状況表示システム
(<https://www.msil.go.jp/msil/htm/topwindow.html>)
国土地理院



漂流位置及び漂流状況

- ② 33-55.2N 138-36.4E付近 1m×100m1本筋状
- ③ 33-50.0N 138-09.7Eから33-34.9N 138-06.0Eの間 2m×100m11本筋状
- ④ 33-50.1N 138-24.5E付近、1m×100m1本筋状
- ⑤ 33-50.2N 138-49.3E付近、1m×100m1本筋状
- ⑥ 33-45.2N 138-50.7E付近、1m×100m3本筋状
- ⑦ 33-39.0N 138-10.1E付近、2m×200m1本筋状 東端は5m×50m塊
- ⑧ 33-40.6N 138-35.8E付近、1m×200m3本筋状
- ⑨ 33-40.5N 138-51.6E付近、1m×500m3本筋状
- ⑩ 33-34.9N 138-47.3E付近、2m×200m2本筋状
- ⑪ 33-30.2N 138-45.3E付近、1m×30m4本筋状
- ⑫ 33-30.2N 138-48.3E付近、1m×30m3本筋状
- ⑬ 33-34.0N 139-03.4E付近、2m×200m1本筋状

確認場所：上記イメージ図②～⑬の付近海域

漂流状況：上記海域において、1～2メートル×30～500メートルの範囲を筋状又は塊にて漂流中

※この他の海域においても広く漂流している可能性があります。